

塩谷広域行政組合エコパークしおや  
長期包括運営業務委託

審 査 講 評

2018 年 8 月 10 日

塩谷広域行政組合次期環境施設事業者選定委員会



# 目 次

<b>第1章 業務概要</b> .....	1
1. 業務名.....	1
2. 業務実施場所.....	1
3. 業務目的.....	1
4. 運営期間.....	1
5. 施設の概要.....	2
6. 業務範囲.....	3
<b>第2章 審査方法</b> .....	3
1. 審査委員会.....	3
2. 優先交渉権者選定の手順.....	3
3. 事業者選定委員会の開催経過.....	5
4. 審査手順.....	6
5. 定量化審査.....	7
<b>第3章 審査結果の概要</b> .....	9
1. 応募者.....	9
2. 参加資格審査.....	9
3. 基礎審査.....	9
4. 非価格要素の審査.....	10
5. 価格要素の審査.....	10
6. 合計評価点の算定.....	10
7. 優先交渉権者の選定.....	11
<b>第4章 総 評</b> .....	12



## 第1章 業務概要

### 1. 業務名

塩谷広域行政組合エコパークしおや長期包括運營業務委託

### 2. 業務実施場所

栃木県矢板市安沢3630他 25筆

### 3. 業務目的

現在、塩谷広域行政組合（以下「組合」という。）では、稼働中の「塩谷広域環境衛生センター（可燃ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設）」に替わり、2019年9月30日竣工を目指し、一般廃棄物中間処理施設を建設中である。

本業務は、安定的な一般廃棄物の中間処理の継続と運営事業者の創意工夫による公共サービス水準の向上及び財政負担の縮減と平準化を目的とし、本施設の運転、備品・用役の調達、保守管理、修繕工事等を委託するものである。

### 4. 運営期間

(1) 運営準備期間：2018年10月1日（予定）～2019年9月30日

{2018年10月1日（予定）～2019年3月31日（運営人員募集期間）}

{2019年4月1日～2019年9月30日（試運転期間）}

(2) 運営期間：2019年10月1日～2030年3月31日

5. 施設の概要

施設の概要を表1に示す。

表1 施設の概要

名	称：エコパークしおや
エネルギー回収型廃棄物処理施設	<p>1) 処理方式：全連続燃焼ストーカ式</p> <p>2) 施設規模：114t/日 (57t/日×2炉 1日当たり24時間)</p> <p>3) 処理対象物</p> <p>ア 家庭系可燃ごみ</p> <p>イ 事業系可燃ごみ</p> <p>ウ リサイクル施設可燃残渣</p> <p>エ 可燃性粗大ごみ</p> <p>オ し尿処理脱水汚泥・処理後し渣</p> <p>カ 災害廃棄物 (緊急時)</p> <p>4) 処理方式等</p> <p>ア 焼却方式：全連続燃焼式</p> <p>イ 受入供給設備：ピット&amp;クレーン方式</p> <p>ウ 燃焼設備：ストーカ式</p> <p>エ 燃焼ガス冷却設備：廃熱ボイラ</p> <p>オ 排ガス処理設備：バグフィルタ、乾式有害ガス除去設備、無触媒脱硝設備</p> <p>カ 灰出し設備：薬剤固化処理</p> <p>キ 通風設備：平衡通風方式</p> <p>ク 給水設備：[生活用水] 上水、[プラント用水] 井水、上水</p> <p>ケ 排水処理設備：[生活排水] 下水道放流、[ごみ污水] ごみピット返送、[プラント排水] 凝集沈殿、砂ろ過、活性炭、キレート樹脂</p> <p>コ 余熱利用設備：発電 (6,600V、1,530kW)、場外電力供給、場内給湯</p> <p>サ 電気設備：高圧、契約電力860kW (予定)、電圧6,600V</p>
マテリアルリサイクル推進施設	<p>1) 処理方式：破碎、選別、圧縮梱包</p> <p>2) 施設規模</p> <p>ア 不燃ごみ・不燃性粗大ごみライン : 12t/5h</p> <p>イ 資源びんライン : 6t/5h</p> <p>ウ 古紙類ライン : 1t/5h</p> <p>エ ペットボトルライン : 2t/5h</p> <p>3) 処理対象物</p> <p>ア 不燃ごみ</p> <p>イ 不燃性粗大ごみ</p> <p>ウ 資源びん</p> <p>エ 古紙類</p> <p>オ ペットボトル</p>
関連施設	<p>管理棟、ストックヤード、車庫、洗車棟、場外余熱利用施設 (敷地内)、し尿処理施設 (受変電設備) 等</p>

## 6. 業務範囲

- (1) 運転管理業務
- (2) 維持管理業務
- (3) 測定管理業務
- (4) 防災管理業務
- (5) 情報管理業務
- (6) 関連業務

## 第2章 審査方法

### 1. 審査委員会

組合は、応募者の業務提案の審査を公平に専門的知見に基づいて実施するため、塩谷広域行政組合次期環境施設事業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）を設置した。

事業者選定委員会を構成する委員を表2に示す。

表2 事業者選定委員会委員

委員名		所 属
学 識 経 験 者	濱田 雅巳	公益社団法人全国都市清掃会議技術部長
	中村 祐司	宇都宮大学教授
	伊澤 正之	弁護士
構 成 市 町	小瀧 新平	矢板市市民生活部長兼くらし安全環境課長
	添田 克彦	さくら市環境課長
	和氣 剛	塩谷町住民課長
	阿久津 幽樹	高根沢町環境課長

### 2. 優先交渉権者選定の手順

優先交渉権者の選定フローは、図1に示すとおりである。

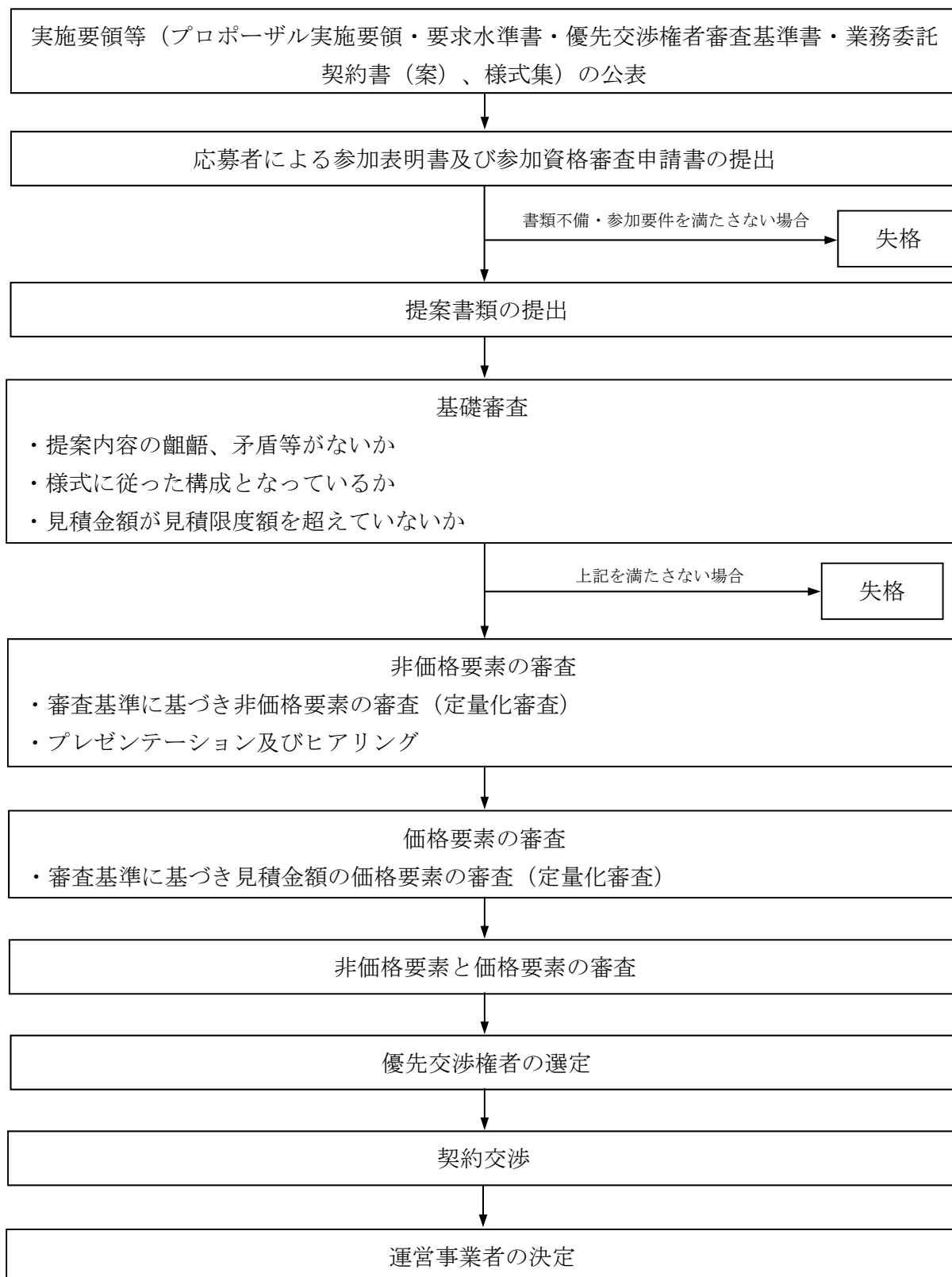


図1 優先交渉権者の選定フロー



### 3. 事業者選定委員会の開催経過

事業者選定委員会の開催及び優先交渉権者選定までの経過を表3に示す。

表3 事業者選定委員会の開催及び優先交渉権者選定までの経過

内 容	日 程
① 第1回事業者選定委員会 (実施方針について等)	2018年 1月 23日 (火)
② 実施方針等の公表	2018年 2月 16日 (金)
③ 上記質問への回答	2018年 2月 23日 (金)
④ 第2回事業者選定委員会 (実施要領について等)	2018年 3月 16日 (金)
⑤ 公募の公告及び実施要領等の配布	2018年 3月 23日 (金)
⑥ 参加表明書の提出期限	2018年 3月 30日 (金) 17:00
⑦ 実施要領等に関する質問受付期限	2018年 4月 6日 (金) 17:00
⑧ 実施要領等に関する質問回答の公表	2018年 4月 13日 (金)
⑨ 参加資格審査書類提出期限	2018年 4月 23日 (月) 17:00
⑩ 参加資格審査結果の通知	2018年 4月 27日 (金)
⑪ 技術的対話確認事項提出期限	2018年 5月 8日 (火) 17:00
⑫ 第3回事業者選定委員会 (技術的対話の実施)	2018年 5月 17日 (木)
⑬ 提案書等の提出期限	2018年 6月 29日 (金) 17:00
⑭ 基礎審査結果通知	2018年 7月 9日 (月)
⑮ 第4回事業者選定委員会 (プレゼン及びヒアリング)	2018年 7月 20日 (金)
⑯ 優先交渉権者の選定及び公表	2018年 7月 23日 (月)

#### 4. 審査手順

##### (1) 参加資格審査

応募者から提出される参加表明書及び参加資格審査申請書類により、プロポーザル実施要領に示す参加資格要件をすべて満たしていることを確認する。参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

##### (2) 基礎審査

基礎審査は、応募者から提出された要求水準書に対する提案書の内容について、表4に示す項目を満足していることをプロポーザル実施要領等に対する質問回答書を考慮して確認する。基礎審査の確認は、事業者選定委員会が行う。

表4 基礎審査項目

###### ①提出書類について

- ・必要な書類が必要部数提出されているか。
- ・提案全体について、様式にしたがった「項目の構成」、「枚数」等となっているか。

###### ②提案内容について

- ・提案書全体について、記載漏れ、又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないか。
- ・要求水準書の内容を満足しているか。

###### ③提案価格について

- ・見積金額が見積限度額を超えていないか。

##### (3) 非価格要素の審査

事業者選定委員会は、提案内容について優先交渉権者審査基準書に定める審査項目により定量化審査を実施し、非価格要素点を決定する。

##### (4) 価格要素の審査

事業者選定委員会は、見積限度額の範囲内による応募者の見積金額について、優先交渉権者審査基準書に定める価格要素点算定式により定量化審査を実施し、価格要素点を決定する。

##### (5) 優先交渉権者の選定

非価格要素点（80点満点）と価格要素点（20点満点）から優先交渉権者審査基準書に定める評価方法により合計評価点を算定し、最も高い点数の応募者を優先交渉権者として選定し、次いで合計評価点が高い点数の応募者を次点交渉権者として選定する。

## 5. 定量化審査

### (1) 非価格要素の採点基準及び得点化方法

非価格要素については80点満点とした。

非価格要素の採点基準及び得点化方法は、表5に示すとおりである。

表5 審査項目の採点基準と得点化方法

評価	評価内容	点数化の方法
A	特に優れている	配点×1
B	AとCの間	配点×0.75
C	優れている	配点×0.5
D	CとEの間	配点×0.25
E	要求水準書を満たす程度	配点×0

非価格要素＝各審査項目の平均点の合計

※各審査項目の平均点は、平均点小数点第3桁を四捨五入し小数点2桁まで算出する。

### (2) 非価格要素の審査項目と配点

定量化審査の得点が総合評価の値となるため、配点及び得点化基準については、委託期間にわたる必要性、重要性を勘案し、組合が本業務において優先交渉権者に創意工夫を期待する度合いにより設定した。

審査項目は、組合が応募者の提案に期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目と評価の視点を表6に示す。

表6 審査項目と評価の視点

審査項目		評価の視点	配点
1. リスク管理			25
ア 想定されるリスクと対応策	①的確なリスク把握とその体制	・ 本業務の遂行にあたってのリスクの把握とそれに対する組織体系や資金調達等に関する対応策について、具体的で実行性の担保された提案がなされているか。	3
	②リスクに対する保険の活用	・ 事故防止と発生時対応、被害等の影響を極力回避するための各種保険の活用（保険種目、契約者、被保険者、保険金額、適用範囲等の特記事項）等について、具体的で効果的な提案がなされているか。	2
2. 地域貢献			20
ア 地元企業への発注	①地元企業への発注件数及び発注の確認方法	・ 運営業務での用役調達等（従業員の調達を除く。）における地元企業の活用について、地元企業の発注額、発注内容、発注内容及び企業数等、積極的に意欲的な提案がなされているか。さらには、発注確認のための具体的なチェックシステムが提案されているか。なお、事業期間を通じた年度別の企業別業務別の地元企業への発注額が分かる表を添付すること。	7
イ 地元採用等	①地元就労の考え方	・ 地元在住者に対する就労の考え方において、人数や採用時期等について、具体的で積極的な提案がなされているか。また、地元在住者の就労が確実に実行されていることを組合が確認するための具体的な仕組みが提案されているか。	7
ウ 地域への貢献・組合との連携	①地域への貢献	・ 見学・学習設備の運用方法や業務実施区域の敷地活用方法等、地域に開かれた施設としての貢献の方法や配慮した点が具体的に提案されているか。	3
	②組合との連携	・ 組合が行う本施設の稼働状況（環境モニタリングデータ等）の公開において、ウェブサイトでの情報提供等への協力について、具体的で効果的な提案がなされているか。	3
審査項目		評価の視点	配点
3. 運転管理			35
ア 運転管理体制	①運転管理体制	・ 安定稼働の確保に向けて、運転員ごとの明確で具体的な役割分担とともに、適正な人員配置による効率的な運転体制が提案されているか。	5
	②人材育成方法	・ 具体的で実践的な人材育成のためのプログラム等が提案されているか。	2
イ 受入・受付・搬入物管理	①受入・受付方法	・ 混載ごみの搬入者に配慮した安全で分かりやすい誘導方法について、経験や実績に基づいて、具体的な提案がなされているか。 ・ 周辺交通や本施設へのごみ搬入・搬出等に支障をきたさないことを前提として、混載ごみ搬入者に配慮した効率的で円滑な受付業務の対応策（ごみの荷おろし等）について、具体的で効果的な提案がなされているか。 ・ エネルギー回収型廃棄物処理施設とマテリアルリサイクル推進施設が合棟であることを踏まえ、プラットホームにおける混載ごみの安全な搬入と投入方法について、経験と実績に基づき、具体的で効果的な提案がなされているか。	7
	②搬入物管理	・ 具体的な処理不適合の混入防止対策について、効果的で具体的な提案がなされているか。 ・ 具体的な展開検査の頻度や方法について、実践的で効果的な提案がなされているか。	3
ウ 運転計画	①運転計画	・ ごみ質、ごみ量変動への対応策が十分検討され、具体的で効果的な提案がなされているか。 ・ 効率的で安定性に優れた運転計画（2炉運転日数の確保、全炉停止期間の短縮等）が提案されているか。	5
	②用役と発電に考慮した運転計画	・ 用役使用量の最小化と売電量の増加等を考慮した具体的で経済的な運転計画が提案されているか（各年度のごみ処理量（災害廃棄物を除く）において、昼間（1炉運転時と2炉運転時）と夜間（1炉運転時と2炉運転時）の条件で運転計画が立てられ、各条件のごみ1tあたりの売電量（平均値）が算定されているか。）。	5
エ 緊急時対応	①緊急時対応	・ 災害時（水害、地震、火災、停電、故障、その他緊急事態で各々の事象毎別に）の管理体制、連絡体制、運転体制及び運転方法等が確立され、早期復旧に向けた具体的な提案がなされているか。 ・ 排ガス中の有害物質の濃度が、要監視基準値、停止基準値を超えた時の対策等について、具体的で実践的な提案がなされているか。	3
	②防災備蓄品の維持管理	・ 見学者及び作業員が施設内で3日程度滞在できるための防災備蓄倉庫の計画及び維持管理方法について、具体的で効果的な提案がなされているか。	2
オ 資源化対応	①資源物（びん）の純度及び回収率の確保	・ マテリアルリサイクル推進施設において、選別・回収するびん（カレット）の純度及び回収率の確保に向け、選別作業の安全性確保に配慮した手選別作業の効率性・作業環境性の向上策について、実績に基づいた、具体的で有効な提案がなされているか。	3
審査項目		評価の視点	配点
4. 維持管理・補修計画			20
ア 維持管理・補修計画	①維持管理・補修計画（プラント部分）	・ 本施設を30年間以上運用することを前提として、10年6ヶ月にわたり事業の継続性を担保するための維持管理計画について、経済的で効果的かつ事業費の平準化に配慮した提案がなされているか。	7
	②維持管理・補修計画（プラント以外）	・ 本施設を30年間以上使用することを前提として、10年6ヶ月にわたり効率的な維持管理を行うため、建築物（仕上げ、構造体）、建築機械及び建築電気の保全に関して、具体的で経済性に優れており、事業費の平準化に配慮した計画が提案がされているか。 ・ 啓発・環境学習設備の保全及び更新に関して、具体的で経済性に優れた計画が提案されているか。	3
5. 測定管理			5
ア 公害防止対応	①測定項目・測定頻度、基準値超過時対応	・ 公害防止基準値を確実に遵守するための排ガス、振動、悪臭等の環境管理（測定項目、頻度、箇所等）について、具体的で効果的な提案がなされているか。	5
6. その他関連業務等			5
ア 運営期間終了後の計画	①引継ぎ及びサポート	・ 運営期間終了後の具体的な引継ぎ方法について、具体的な提案がなされているか。 ・ ノウハウの継承について、具体的な提案がなされているか。 ・ 運営業務の引継ぎ時及び引継ぎ後のサポート体制について、具体的で実践的な提案がなされているか。	5

### 第3章 審査結果の概要

#### 1. 応募者

2018年3月30日を期限として参加表明書の提出を受付けたところ、1グループからの参加表明があった。応募者を表7に示す。

表7 応募者

グループ名	応募者	
すみれ	代表企業	日立造船株式会社東京本社
	協力企業	H i t z 環境サービス株式会社
		新明和工業株式会社
		株式会社日光環境サービス

#### 2. 参加資格審査

応募者から提出された参加表明書及び参加資格審査申請書類により、プロポーザル実施要領に示す参加資格要件をすべて満たしていることを確認した。

#### 3. 基礎審査

応募者から提出された要求水準書に対する提案書の内容について、表8に示す項目を満足していることをプロポーザル実施要領等に対する質問回答書を考慮して確認した。

表8 基礎審査結果

項目	すみれ
①提出書類について ・必要な書類が必要部数提出されているか。 ・提案全体について、様式にしたがった「項目の構成」「枚数」等となっているか。	合格
②提案内容について ・提案書全体について、記載漏れ、又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないか。 ・要求水準書の内容を満足しているか。	合格
③提案価格について ・見積金額が見積限度額を超えていないか。	合格

#### 4. 非価格要素の審査

事業者選定委員会は、提案書に関するヒアリングを2018年7月20日に実施し、応募者から提案内容の説明や委員による質疑を行った。また、それらの内容を踏まえて、非価格要素の得点化を行った。非価格要素点の結果は表9のとおりである。

表9 非価格要素点の結果

項目	応募者（すみれ）
非価格要素点（配点 80点）	55.96点

#### 5. 価格要素の審査

事業者選定委員会は、見積限度額の範囲内による応募者の見積額について、優先交渉権者審査基準書に定める価格要素の得点化方法により定量化審査を実施し、価格要素点を決定した。価格要素点の結果は表10のとおりである。

表10 価格要素点の結果

項目	応募者（すみれ）
見積額	7,600,000,000円
価格要素点（配点 20点）	20.00点

注) 価格要素点 = 20点 × (最低見積額 / 見積額)  
得点は、小数点第3桁を四捨五入し、小数点2桁まで算出する。  
見積額は消費税額及び地方消費税額（税率8%）を含まない。  
見積限度額は7,608,000,000円

#### 6. 合計評価点の算定

非価格要素点（80点満点）と価格要素点（20点満点）から優先交渉権者審査基準書に定める評価方法により合計評価点を算定した。

価格要素点の結果は表11のとおりである。

表11 合計評価点の結果

項目	応募者（すみれ）
非価格要素点（配点 80点）	55.96点
価格要素点（配点 20点）	20.00点
合計評価点（配点100点）	75.96点

注) 合計評価点 = 非価格要素点 + 価格要素点

## 7. 優先交渉権者の選定

事業者選定委員会は審査結果に基づき、すみれグループ（代表企業：日立造船株式会社 東京本社）を優先交渉権者として選定した。

## 第4章 総 評

本業務の事業者選定は、2018年1月23日における第1回事業者選定委員会の開会に始まり、約半年間の募集及び選定スケジュールを経て、同年7月23日に優先交渉権者の選定及び公表を行ったところである。

事業者選定委員会は、参加表明書の提出期限までに1グループから応募があったことから、応募者による提案内容を公平に専門的知見に基づいた審査を実施した。

なお、本業務の目的は「安定的」な一般廃棄物の中間処理の継続と、運営事業者の「創意工夫」による「公共サービス水準の向上」及び「財政負担の縮減」等としている。

審査の結果、事業者選定委員会は、日立造船株式会社東京本社を代表企業とした「すみれグループ」を優先交渉権者として選定した。

優先交渉権者は、ごみ処理関連施設の運營業務委託実績を豊富に有しており、その経験やノウハウに基づいた運営体制を構築することにより、安定的な運営が実現可能とする提案が評価された。

提案書では、「運転管理」の項目において具体的な提案がなされており、特に「受入・受付方法」「運転管理体制」に対する評価が高い結果であった。

また、「公害防止対応」「引継及びサポート」の項目においても高い評価を得ており、環境に対する管理体制や、業務引継・監視体制の点において配慮された提案であった。

今後、組合と優先交渉権者が連携して長期に渡る運營業務を遂行するにあたり、地元へ喜ばれ、信頼される施設となるために、優先交渉権者には次の点に留意することを望む。

- ① 薬品や事務用品等の物品の発注について、より一層地元企業を活用する方法を計画すること。
- ② 工事や業務委託についても、より一層地元企業を活用する方法を計画すること。
- ③ 緊急時対応について、緊急事態が発生した際の迅速な対応が担保されるよう、具体的な内容を計画書に記載するとともに、訓練等により緊急時対応の内容を職員に周知徹底すること。
- ④ リサイクル展示コーナー等の運営については、地域に対する顔となるため、組合と十分な協議を行い、力を入れて運営すること。
- ⑤ 地元雇用の計画について、提案を確実に履行するとともに、更なる地元雇用の拡大に努めること。
- ⑥ 適切な施設運営を行うとともに、環境モニタリングデータ等の情報公開を確実にを行い、地元住民に不安を抱かせることのないようにすること。

組合がこれらの配慮事項を優先交渉権者に明確に伝達するとともに、双方が真摯な協議を行うことにより、本業務が一層良いものになることを期待する。

2018年8月

塩谷広域行政組合次期環境施設事業者選定委員会  
委員長 濱田 雅巳